

# 2023 年度 卒業年次生アンケート 結果報告

大学事務部 学事企画課

## 1. 概要

- (1) 実施日：2024 年 3 月 8 日（金）
- (2) 対象者：2023 年度卒業年次生 1,028 名  
→卒業延期や在学期間延長等の理由により、2024 年度も在籍する学生は除いた卒業確定者の人数。
- (3) 回収したアンケート数：728 件（回収率：70.8%）  
→うち、回答が全く記入されていない 46 件は無効として、集計から除外。
- (4) 集計対象としたアンケート数：682 件（有効回答率：66.3%）

【図表 1】2023 年度卒業年次生アンケート回収状況

	対象者	回収	未回収	回収率
日本語日本文学科	129	105	24	81.4%
英語文化コミュニケーション学科	127	58	69	45.7%
子ども教育学科	118	53	65	44.9%
メディア情報学科	116	96	20	82.8%
生活デザイン学科	49	29	20	59.2%
小計《学芸学部》	539	341	198	63.3%
社会マネジメント学科	121	72	49	59.5%
人間心理学科	114	78	36	68.4%
小計《人間社会学部》	235	150	85	63.8%
健康栄養学科	74	66	8	89.2%
管理栄養学科	114	87	27	76.3%
小計《栄養科学部》	188	153	35	81.4%
計《大学》	962	644	318	66.9%
食物栄養学科	66	38	28	57.6%
計《短期大学部》	66	38	28	57.6%
計《回答なし》	-	46	-	-
アンケート回収数	1,028	728	300	70.8%
集計対象とするアンケート数		682	-	66.3%

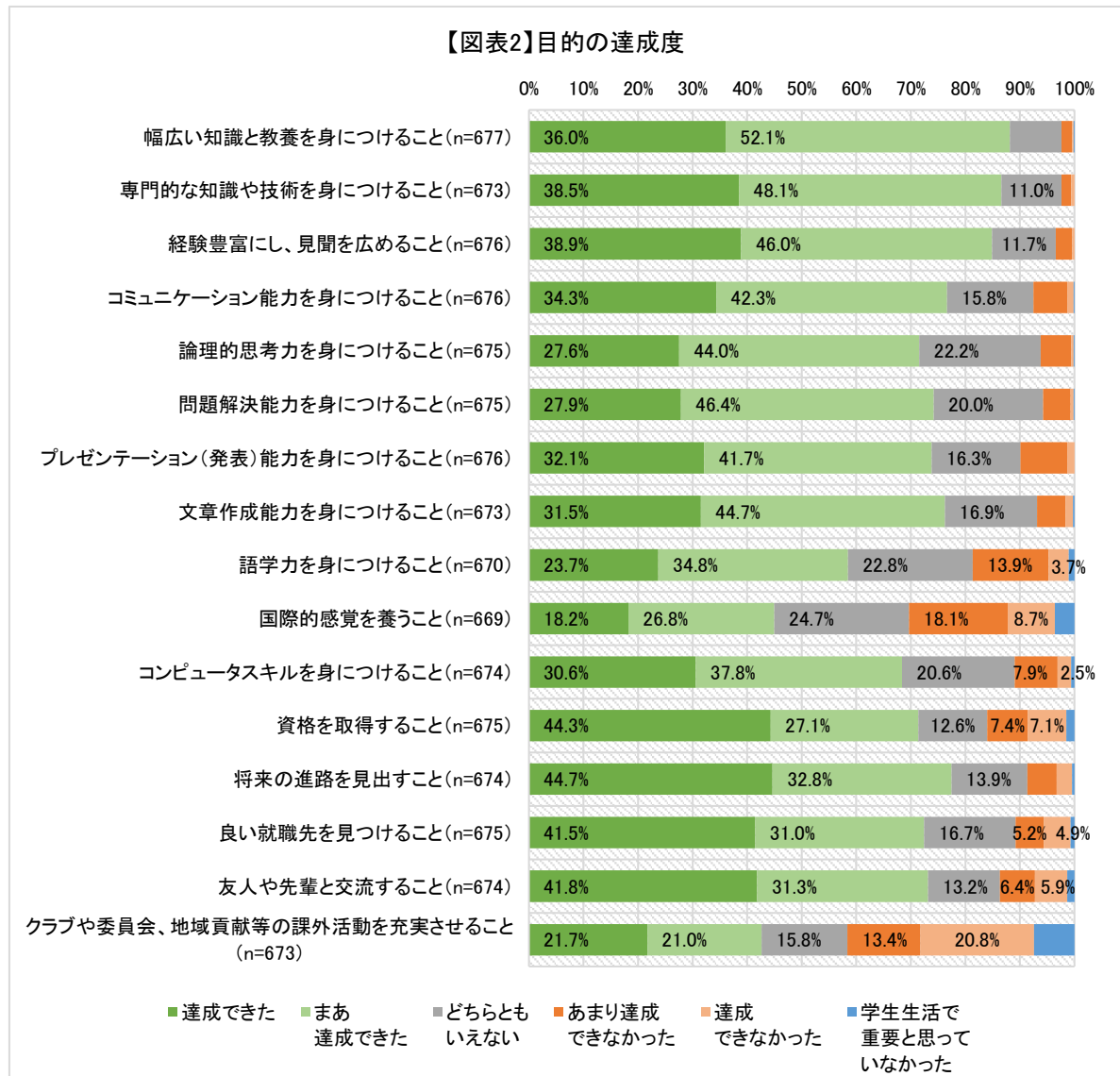
【参考】春学期卒業者を加えた 2023 年度全卒業者数から見た回収率（有効回答率）は以下のとおり。

大学 … 卒業者数：974 名 回収率（有効回答率）：66.1%

短期大学部 … 卒業者数：66 名 回収率（有効回答率）：57.6%

## 2. 各項目の分析

### (1) 目的の達成度について



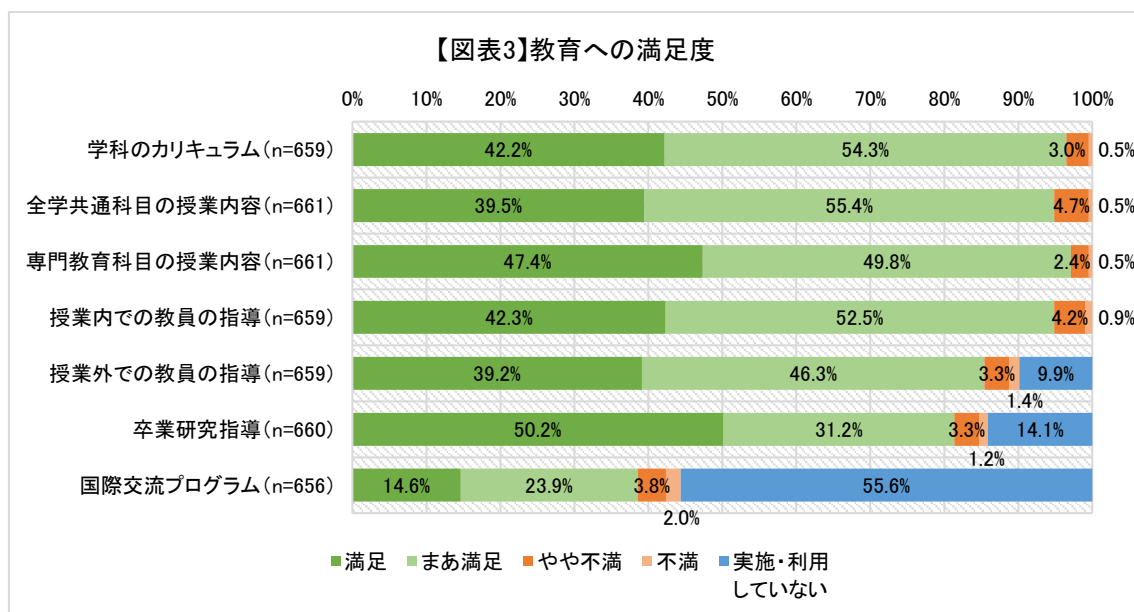
※肯定回答以外は、1割を超えるもの（否定回答は合算で）のみ割合を掲載。

- 「幅広い知識と教養を身につけること」「専門的な知識や技術を身につけること」「経験豊富にし、見聞を広めること」の3項目は、昨年度までと同様に肯定的に回答する学生が非常に多く、いずれも80%を超えている。
- 「コミュニケーション能力」「論理的思考力」「問題解決能力」「プレゼンテーション(発表)能力」「文章作成能力」「語学力」「コンピュータスキル」の7つの能力・スキルについて、いずれも半数以上の学生が「達成できた」「まあ達成できた」と回答している。「語学力」「コンピュータスキル」以外は70%を超えており、さらに「あまり達成できなかった」「達成できなかった」と回答した学生は1割に満たない。
- 「資格を取得すること」「将来の進路を見出すこと」「良い就職先を見つけること」「友人や先輩と交流すること」の4項目については、70%以上の学生が肯定的に回答し、

かつ「達成できた」と回答した学生が40%を超えている。

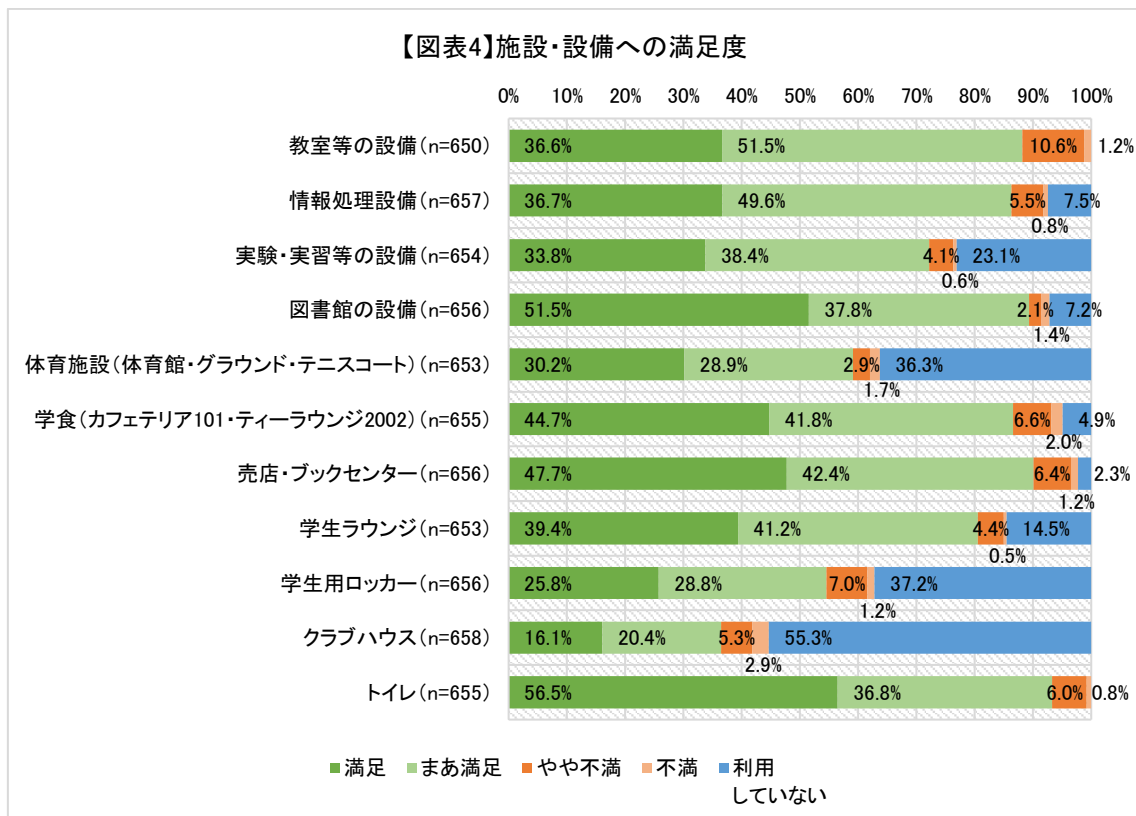
- 前年度との比較では、全ての項目が±5ポイントの範囲に収まっており、学生の回答傾向に大きな変化は見られなかった。

## (2) 教育への満足度について



- 「学科のカリキュラム」と「専門教育科目の授業内容」を「満足」「まあ満足」と回答した学生が、いずれも95%を超えている。「全学共通科目の授業内容」も、94.9%の学生が「満足」「まあ満足」と回答している。
- 教員の指導に関しては、「授業内での教員の指導」を94.8%の学生が「満足」「まあ満足」と回答している。「授業外での教員の指導」「卒業研究指導」は「実施・利用していない」とした学生が一定数いるため「満足」「まあ満足」と回答した学生が90%に達していないが、「やや不満」「不満」と回答した学生の割合はいずれも5%未満であった。また、「卒業研究指導」は半数以上の学生が「満足」と回答している。
- 全ての項目において、「やや不満」「不満」と回答した学生は6%未満であった。
- 「卒業研究指導」を「実施・利用していない」と回答している学生の9割は、卒業研究を必修としていない栄養系3学科（健康栄養・管理栄養・食物栄養）の学生である。
- 「国際交流プログラム（留学・語学研修・キャンパス留学）」は、例年と同様に半数以上の学生が「実施・利用していない」と回答している。
- 前年度との比較では、全ての項目が±3ポイントの範囲に収まっており、学生の回答傾向に大きな変化は見られなかった。

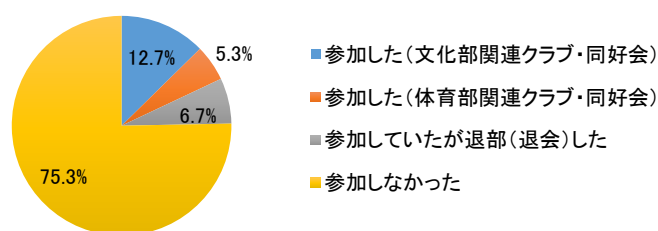
### (3) 施設・設備への満足度について



- 「売店・ブックセンター」と「トイレ」は、90%以上の学生が「満足」「まあ満足」と回答している。また、「教室等の設備」と「図書館の設備」について肯定的に回答した学生も90%近い。なお、「図書館の設備」と「トイレ」に関しては、半数以上の学生が「満足」と回答している。
- 「教室等の設備」以外は、「やや不満」「不満」と回答した学生が10%未満であった。
- コロナ禍により通学できなかった期間が長かった影響からか、今回のアンケートではこれまでと比較して「利用していない」と回答した学生の増加が目立った。

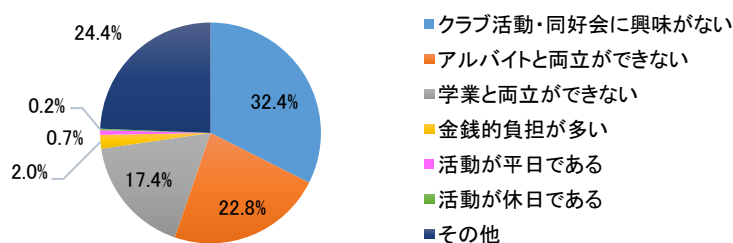
#### (4) クラブ・同好会について

【図表5】クラブ活動・同好会に参加しましたか？(n=656)



- クラブ活動や同好会に「参加した」と回答した学生は、退部（退会）した者も含めて24.7%。

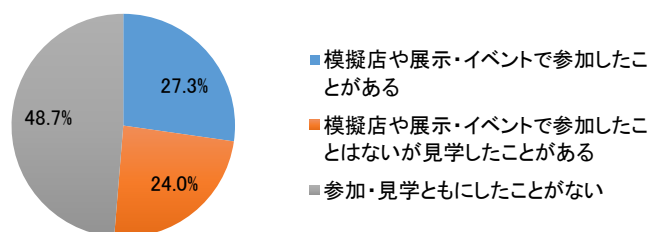
【図表6】参加しなかった理由(1つのみ) (n=447)



- 「参加しなかった」とした494名のうち、この設問に回答した学生は447名(90.5%)。
- 理由としては、「クラブ活動・同好会に興味がない」とした学生が最も多く32.4%。「アルバイトと両立できない(22.8%)」「学業と両立できない(17.4%)」をあわせた3項目で、回答全体の約7割を占めている。
- 「その他」と回答した学生は109名で、前年度の40名から69名増加。回答全体に占める割合でも24.4%と、こちらも前年度の9.6%から大きく増加した。このうち、104名の学生が具体的な理由を記述しているが、学部生が入学した2020年はコロナ禍が始まったタイミングということもあり、半数以上の56名が「コロナ」を理由として挙げている。また、「コロナ」というワードは含まれていなくても、「学校に来る機会が無かった」「オンライン授業だったから」「機会を失った」など、コロナ禍であったことが影響したと思われる回答も多く見られた。

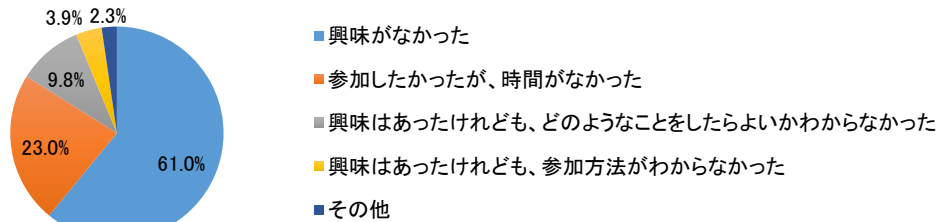
#### (5) 相生祭について

【図表7】相生祭に参加したことはありますか？(n=653)



- 「参加したことがある」もしくは「見学したことがある」と回答した学生は 51.3%。コロナ禍により在学中の開催が少なかった影響もあり、これまでより相生祭に関わった学生が少なかった。

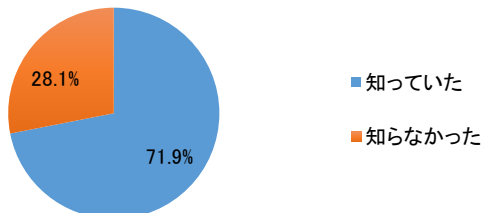
【図表8】参加・見学ともにしたことがない理由(1つのみ) (n=305)



- 「参加・見学ともにしたことがない」とした 318 名のうち、この設問に回答した学生は 305 名 (95.9%)。
- 61.0%の学生が「相生祭に興味はなかった」と回答した一方で、36.7%の学生が「参加したかった」「興味はあった」と回答している。
- 「その他」と回答した学生は 7 名、そのうち 6 名が具体的な理由を記述している。数としては少ないが、6名のうち半数である 3 名が「コロナ」を理由としている。

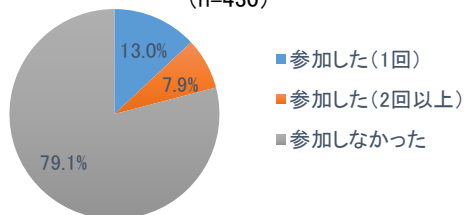
## (6) 社会貢献活動について

【図表9】社会貢献活動を行っていることを知っていましたか？ (n=609)

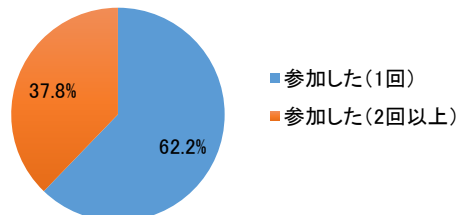


- 本学が社会貢献活動を行っていることを「知っていた」と回答した学生は 71.9%。

【図表10】社会貢献活動に参加しましたか？ (n=430)



【図表11】参加者のうち、2回以上参加した学生(リピーター)の占める割合 (n=90)



- 「知っていた」とした 438 名のうち、この設問に回答した学生は 430 名 (98.2%)。
- 「参加した」と回答した学生の割合は 20.9%で、前年度とほぼ同程度の参加率であった。

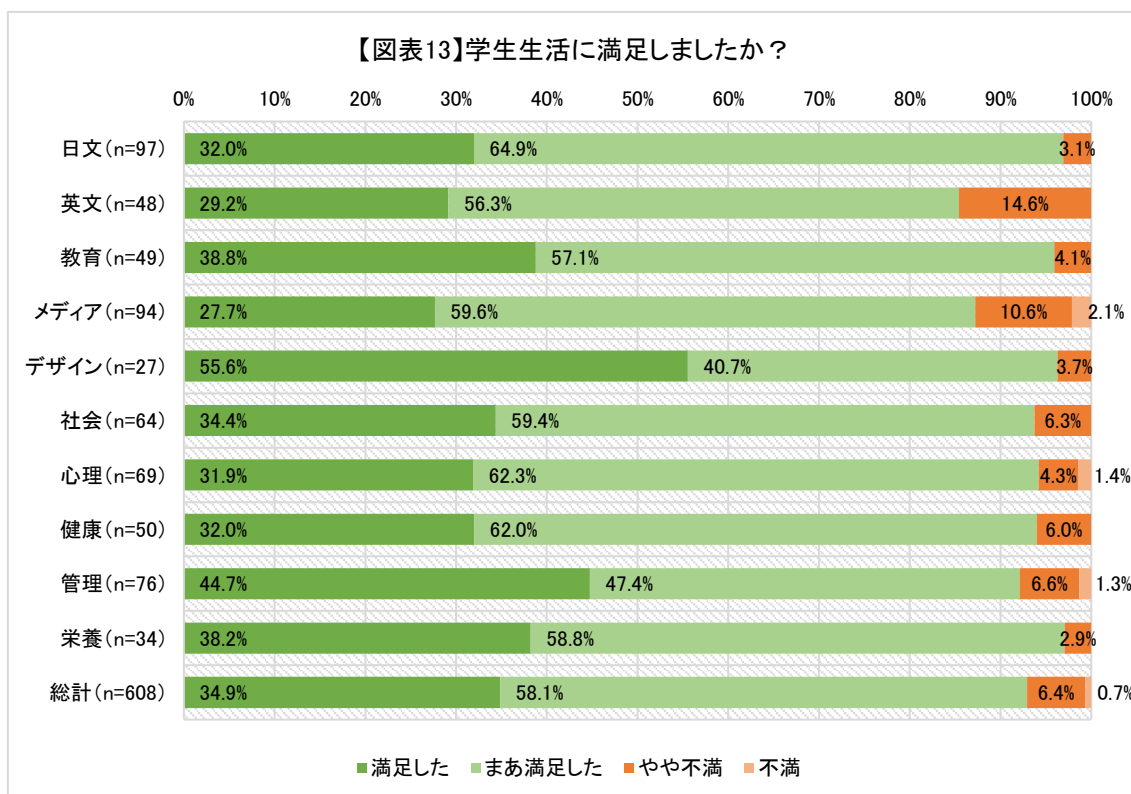
- 「参加した」と回答した 90 名のうち、4 割弱の 34 名が 2 回以上参加の「リピーター学生」となっている。

【図表 12】参加しなかった理由(複数回答可)

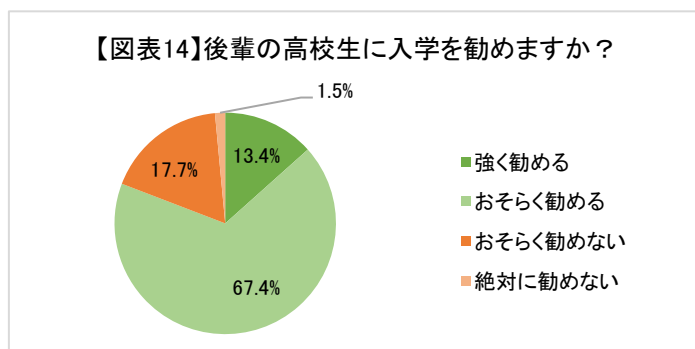
回答	件数
<b>①物理的阻害要因</b>	<b>156</b>
日程が合わなかった(102)／活動場所が遠かった(25)／お金がかかりそうだった(22)／活動期間が長かった(7)	
<b>②参加への不安感</b>	<b>114</b>
一人で参加するのが不安だった(62)／一緒に参加する友達がいなかった(32)／泊まりがけになることが不安だった(20)	
<b>③活動への知識・理解不足</b>	<b>66</b>
活動内容がよくわからなかった(55)／活動を通じて何が学べるのかわからなかった(11)	
<b>④関心がなかった</b>	<b>104</b>
<b>⑤その他</b>	<b>14</b>

- 「参加しなかった」とした 340 名のうち、この設問に回答した学生は 321 名(94.4%)。
- 大括りにまとめた場合、「物理的阻害要因」「参加への不安感」「活動への知識・理解不足」の順で件数が多いという回答傾向は、例年と変わらなかった。
- 「その他」と回答した学生のうち、具体的な理由を記述した学生は 13 名。そのうち、「コロナ」を理由とした学生は 1 名のみで、他のプロジェクト活動やボランティア活動、ゼミでの社会貢献活動等への参加を理由とする学生が複数見られた。

## (7) 学生生活を振り返って



- 本学での学生生活について、93.0%の学生が「満足」「まあ満足」と回答している。前年度の92.5%と、ほぼ同程度の結果となった。
- 学科別で見ると、4学科で95%以上の学生が「満足」「まあ満足」と回答している。その他の6学科も、4学科で90%以上、残り2学科も85%以上の学生が「満足」「まあ満足」と回答しており、多くの学生が本学での学生生活について肯定的に捉えている。



- 80.8%の学生が、後輩の高校生に入学を「強く勧める」「おそらく勧める」と回答している。前年度の79.6%と、ほぼ同程度の結果となった。
- 学科別で見ると、1学科で90%以上、5学科で80%以上、4学科で70%以上の学生が「強く勧める」「おそらく勧める」と回答している。

以上